

最新改訂：2011年1月 1日

印 刷：2011年1月 1日

## 1. 製品及び会社情報

製品名： デブコン HRS3000 (主剤)

会社名： 株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ&フルイズ ジャパン

住所： 大阪府吹田市江の木町30-32

担当部門： 品質管理部

電話： 06-6330-7118(代)

FAX： 06-6330-7083

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| 可燃性固体             | ： 区分外       |
| 急性毒性 経口           | ： 区分外       |
| 経皮                | ： 区分5       |
| 吸入（気体）            | ： 区分外       |
| 吸入（蒸気）            | ： 区分外       |
| 吸入（粉塵およびミスト）      | ： 分類できない    |
| 皮膚刺激性／腐食性         | ： 区分外       |
| 眼損傷性／刺激性          | ： 区分外       |
| 呼吸器感作性            | ： 分類できない    |
| 皮膚感作性             | ： 分類できない    |
| 生殖細胞変異原性          | ： 区分外       |
| 発がん性              | ： 区分外       |
| 生殖毒性              | ： 区分2       |
| 授乳に関する影響          | ： 分類できない    |
| 特定標的臓器／全身毒性（単回暴露） | ： 区分外       |
| 特定標的臓器／全身毒性（反復暴露） | ： 区分1（呼吸器系） |
| 吸引性呼吸器有害性         | ： 分類できない    |
| 水生環境有害性（急性）       | ： 区分外       |
| 水生環境有害性（慢性）       | ： 区分外       |

絵表示又はシンボル： 健康有害性

注意喚起語： 危険

### 危険有害性情報

- ・皮膚に接触すると有害のおそれ（経皮）
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・長期または反復暴露による臓器の障害（呼吸器系）

### 注意書き

- ・火気注意
- ・熱・火花・裸火のような着火源から遠ざけること。
- ・直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。
- ・開封後は速やかに使用し、保管する際は、密閉すること。
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

- ・取扱う際に、適切な保護具、保護手袋を着用すること。
- ・この製品を使用する時に飲食や喫煙をしないこと。
- ・取扱後は手をよく洗うこと。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・汚染した衣類は再使用する場合は洗濯すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・漏出物を回収すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
- ・眼に入った場合は、流水で数分間以上洗い流すこと。
- ・皮膚についた場合は多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・毛髪に付着した場合は、流水／シャワーで洗い流すこと。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入をしないこと。
- ・飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄すること。
- ・気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。
- ・内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
化学名又は一般名 : エポキシ樹脂組成物

| 化学品名        | 別名 | 含有量(%)※ | CAS No.   | 官報公示<br>整理番号 | PRTR法 |
|-------------|----|---------|-----------|--------------|-------|
| イソプロピルアルコール |    | <0.5    | 67-63-0   | 2-207        | —     |
| カーボンプラック    |    | 0.1-1   | 1333-86-4 | 5-5222       | —     |

※法規制のあるものについて記載

### 4. 応急処置

**吸入した場合：** 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。呼吸が止まっている場合及び弱い場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、できるだけ早く医師の診断を受ける。

**皮膚に付着した場合：** 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。皮膚に触れた部分を直ちに拭き取り、水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を使ってよく洗い落とす。必要に応じて医療処置を受ける。

**目に入った場合：** 流水で15分間洗浄した後、速やかに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたの隅々まで水が良く行き渡るように洗浄する。

**飲み込んだ場合：** 水で口の中をよく洗浄する。可能であれば、多量の水を飲ませて吐き出させる。直ちに医療措置を受ける。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

### 5. 火災時の措置

**消火剤：** 粉末、炭酸ガス、乾燥砂

**使ってはならない消火剤：** 水、泡（炎を拡散する可能性がある）

**火災時の特有の危険有害性：** 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。

**特定の消火方法：** 適切な保護具を着用する。防護服を着用していない人を作業場から遠ざける。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。爆発のリスクを最小限にする為、霧状の水を使用して容器を冷却する。

**消火を行う者の保護：** 耐熱性着衣などを着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

周囲にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止し、風上より作業する。危険区域での火気使用を禁止する。作業の際には保護手袋、前掛け、防毒マスク等を使用し、皮膚ついたり、蒸気等を吸入しないようにする。

### 環境に対する注意事項：

河川等に排出され環境への影響を起こさないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法・機材：

大量の流出には、盛り土等で囲って流出を防止する。少量の場合は、土砂、珪藻土、おがくず等に吸着させてできるだけ除去し、密閉できる空容器に回収する。大量の場合は、土砂で流れを止め、下水、河川、低所へ入り込まないように、安全な場所に導いて回収する。付着物、廃棄物等は、焼却するか廃棄物処理業者に正規の方法で委託し、処分する。

### 二次災害の防止策：

付近の着火源となりそうなものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 取扱い 技術的対策：

火気厳禁を励行する。  
高温物、スパーク、火気を避け、強アルカリ、強酸性物等との接触を避ける。  
局所排気装置の設置等、通気の良い作業場所を確保する。  
静電気対策の為、装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。  
取扱の都度、容器を密閉する。  
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないよう適切な保護具を着用する。  
休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後には手、顔等をよく洗う。  
休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ちこんではならない。

### 注意事項：

密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業する。

### 保管

適切な保管条件： 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置く。  
火気厳禁を励行する。

安全な容器包装材料：現行容器のまま保管

## 8. 曝露防止及び保護措置

### 備対策：

作業所はできるだけ自動化し、混合、加熱工程等の設備はできるだけ密閉構造にする。取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。

### 保護具：

有機ガス用防毒マスク、化学薬品が浸透しない保護手袋、保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)、長袖の着衣、必要に応じて長靴、耐油性の合成樹脂又はゴム製の前掛け、腕力バー等を着用。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

形状：パテ状

色：濃灰色

### 臭い

：微量

pH (5%溶液あるいは水中のスラリー)：N/A

融点／凝固点：N/A

沸点、初留点と沸騰範囲：>230℃（推定）

引火点：>204℃（セタ密閉式）

自然発火温度（発火点）：>500℃（推定）

燃焼又は爆発範囲の上限／下限：特に爆発の問題なし

蒸気圧（mmHg）：N/A

蒸気密度（空気=1）：N/A

比重：2.3-2.4

溶解性：N/A

分解温度：N/A

## 10. 安定性及び反応性

安定性：常温・常圧、密閉保管であれば安定

危険有害反応可能性：特に危険な反応は無し

避けるべき条件：高温、火花及び直火。

混触禁止物質：

危険有害な分解生成物：特に無し

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口：LD<sub>50</sub>（ラット）；80,000mg/kg（推定）

吸入：LC<sub>50</sub>（ラット）；飽和空気中の8時間後の結果で、死亡したラットはいない。

経皮：LC<sub>50</sub>（ウサギ）；N/A

皮膚腐食性／刺激性：

殆ど多くの人体に影響はないが、体質により微弱な炎症を起こす場合がある。

呼吸器感作性／皮膚感作性：

長時間あるいは繰り返し皮膚に接触すると皮膚炎を起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷／刺激性：

刺激は殆ど無い。

経口毒性：

構成成分は非常にレベルの低い経口毒性を有する。

## 12. 環境影響情報

急性水生毒性：区分外

慢性水生毒性：区分外

残留性／分解性：混合物としてデータなし

生体蓄積性：混合物としてデータなし

## 13. 廃棄上の注意

「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載事項による。

廃棄は焼却により行うが、その方法は次のいずれかによる。

- ・ 焼却炉の火室へ投げ込み焼却する。
- ・ 都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。
- ・ 主剤と硬化剤を混合し硬化させて、都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委

託し、処分する。

---

#### 14. 輸送上の注意

国際規制 陸上 (RID/ADR) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。  
海上 (IMDGコード) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。  
航空 (ICAO-TI/IATA-DGR) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。

国連分類 : 該当せず

国連番号 : -

---

#### 15. 適用法令

消防法 : 非危険物  
労安法 通知物質 : 法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表 9 (494 7°ロピ°ルアルコール、130 カーボンブラック)

---

#### 16. その他

本製品に関する有害性等の文献はありません。従って、その評価は原料メーカーからの資料を基に安全に取り扱う為の留意点としてまとめたものであり、データは充分ではありませんので、取扱には充分ご注意ください。

参考文献 : 法規制物質リスト (日本ケミカルデータベース)  
: ケミカルデータベース (日本ケミカルデータベース)

---

最新改訂：2011年 1月 1日

印刷：2011年 1月 1日

## 1. 製品及び会社情報

製品名： デブコン HRS3000 (硬化剤)

会社名： 株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ&フルイズ ジャパン

住所： 大阪府吹田市江の木町30-32

担当部門： 品質管理部

電話： 06-6330-7118(代)

FAX： 06-6330-7083

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| 可燃性固体             | ： 区分外       |
| 急性毒性 経口           | ： 区分外       |
| 経皮                | ： 区分外       |
| 吸入（気体）            | ： 区分外       |
| 吸入（蒸気）            | ： 区分外       |
| 吸入（粉塵およびミスト）      | ： 区分5       |
| 皮膚刺激性／腐食性         | ： 区分外       |
| 眼損傷性／刺激性          | ： 区分外       |
| 呼吸器感作性            | ： 分類できない    |
| 皮膚感作性             | ： 区分外       |
| 生殖細胞変異原性          | ： 区分外       |
| 発がん性              | ： 区分外       |
| 生殖毒性              | ： 分類できない    |
| 授乳に関する影響          | ： 分類できない    |
| 特定標的臓器／全身毒性（単回暴露） | ： 区分外       |
| 特定標的臓器／全身毒性（反復暴露） | ： 区分1（呼吸器系） |
| 吸引性呼吸器有害性         | ： 分類できない    |
| 水生環境有害性（急性）       | ： 区分外       |
| 水生環境有害性（慢性）       | ： 区分外       |

絵表示又はシンボル： 健康有害性

注意喚起語： 危険

### 危険有害性情報

- ・ 吸入すると有害のおそれ（気体、蒸気、粉塵、ミスト）
- ・ 長期または反復暴露による臓器の障害（呼吸器系）

### 注意書き

- ・ 火気注意
- ・ 熱・火花・裸火のような着火源から遠ざけること。
- ・ 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。
- ・ 開封後は速やかに使用し、保管する際は、密閉すること。
- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・ 取扱う際に、適切な保護具、保護手袋を着用すること。

- ・この製品を使用する時に飲食や喫煙をしないこと。
- ・取扱後は手をよく洗うこと。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・汚染した衣類は再使用する場合は洗濯すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・漏出物を回収すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
- ・眼に入った場合は、流水で数分間以上洗い流すこと。
- ・皮膚についた場合は多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・毛髪に付着した場合は、流水／シャワーで洗い流すこと。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレートの吸入をしないこと。
- ・吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄すること。
- ・気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。
- ・内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
化学名又は一般名 : エポキシ樹脂組成物

| 化学品名      | 別名 | 含有量(%)※ | CAS No.     | 官報公示<br>整理番号 | PRTR法 |
|-----------|----|---------|-------------|--------------|-------|
| 酸化鉄       |    | 1-5     | 1309-37-1   | 1-357        | —     |
| 含水微粉ケイ酸   |    | 1-5     | 7631-86-9   | 1-548        | —     |
| 無定形シリカ合成物 |    | 1-5     | 112945-52-5 | —            | —     |

※法規制のあるものについて記載

### 4. 応急処置

**吸入した場合：** 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。呼吸が止まっている場合及び弱い場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、できるだけ早く医師の診断を受ける。

**皮膚に付着した場合：** 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。皮膚に触れた部分を直ちに拭き取り、水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を使ってよく洗い落とす。必要に応じて医療処置を受ける。

**目に入った場合：** 流水で15分間洗浄した後、速やかに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたの隅々まで水が良く行き渡るように洗浄する。

**飲み込んだ場合：** 水で口の中をよく洗浄する。可能であれば、多量の水を飲ませて吐き出させる。直ちに医療措置を受ける。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

### 5. 火災時の措置

**消火剤：** 粉末、炭酸ガス、乾燥砂

**使ってはならない消火剤：** 水、泡（炎を拡散する可能性がある）

**火災時の特有の危険有害性：** 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。

- 特定の消火方法：** 適切な保護具を着用する。防護服を着用していない人を作業場から遠ざける。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。爆発のリスクを最小限にする為、霧状の水を使用して容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護：** 耐熱性着衣などを着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

周囲にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止し、風上より作業する。危険区域での火気使用を禁止する。作業の際には保護手袋、前掛け、防毒マスク等を使用し、皮膚つけたり、蒸気等を吸入しないようにする。

### 環境に対する注意事項：

河川等に排出され環境への影響を起こさないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法・機材：

大量の流出には、盛り土等で囲って流出を防止する。少量の場合は、土砂、珪藻土、おがくず等に吸着させてできるだけ除去し、密閉できる空容器に回収する。大量の場合は、土砂で流れを止め、下水、河川、低所へ入り込まないように、安全な場所に導いて回収する。付着物、廃棄物等は、焼却するか廃棄物処理業者に正規の方法で委託し、処分する。

### 二次災害の防止策：

付近の着火源となりそうなものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策：** 火気厳禁を励行する。  
高温物、スパーク、火気を避け、強アルカリ、強酸性物等との接触を避ける。  
局所排気装置の設置等、通気の良い作業場所を確保する。  
静電気対策の為、装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。  
取扱の都度、容器を密閉する。  
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないよう適切な保護具を着用する。  
休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後には手、顔等をよく洗う。  
休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ちこんではならない。
- 注意事項：** 密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業する。

- 保管 適切な保管条件：** 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置く。

火気厳禁を励行する。

**安全な容器包装材料：** 現行容器のまま保管

## 8. 曝露防止及び保護措置

- 設設備対策：** 作業所はできるだけ自動化し、混合、加熱工程等の設備はできるだけ密閉構造にする。取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。
- 保護具：** 有機ガス用防毒マスク、化学薬品が浸透しない保護手袋、保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）、長袖の着衣、必要に応じて長靴、耐油性の合成樹脂又はゴム製の前掛け、腕カバー等を着用。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観 形状：パテ状

色：灰色

臭い : 微量

pH (5%溶液あるいは水中のスラリー) : N/H

融点／凝固点 : N/A

沸点、初留点と沸騰範囲 : >230°C (推定)

引火点 : 無し (セタ密閉式)

自然発火温度 (発火点) : >500°C (推定)

燃焼又は爆発範囲の上限／下限 : 特に爆発の問題なし

蒸気圧 (mmHg) : N/A

蒸気密度 (空気=1) : N/A

比重 : 2.3-2.4

溶解性 : N/A

分解温度 : N/A

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 常温・常圧、密閉保管であれば安定

危険有害反応可能性 : 特に無し

避けるべき条件 : 高温、火花及び直火

混触禁止物質 :

危険有害な分解生成物 : 特に無し

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口 : LD<sub>50</sub>(ラット) ; 80,000mg/kg (推定)

吸入 : LC<sub>50</sub>(ラット) ; 飽和空気中の8時間後の結果で、死亡したラットはいない。

経皮 : LC<sub>50</sub>(ウサギ) ; N/A

皮膚腐食性／刺激性 :

皮膚を刺激し、炎症を起こすことがある。

呼吸器感作性／皮膚感作性 :

粘膜を刺激する。長時間あるいは繰り返し皮膚に接触すると皮膚炎を起こす事がある。

眼に対する重篤な損傷／刺激性 :

刺激する。

経口毒性 :

構成成分は非常にレベルの低い経口毒性を有する。

## 12. 環境影響情報

急性水生毒性 : 区分外

慢性水生毒性 : 区分外

残留性／分解性 : 混合物としてデータなし

生体蓄積性 : 混合物としてデータなし

### 13. 廃棄上の注意

「7.取扱い及び保管上の注意」の記載事項による。

廃棄は焼却により行うが、その方法は次のいずれかによる。

- ・焼却炉の火室へ投げ込み焼却する。
- ・都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。
- ・主剤と硬化剤を混合し硬化させて、都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。

### 14. 輸送上の注意

国際規制 陸上 (RID/ADR) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。

海上 (IMDGコード) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。

航空 (ICAO-TI/IATA-DGR) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。

国連分類 : 該当せず

国連番号 : -

### 15. 適用法令

消防法 : 非危険物

労安法 通知物質 : 法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表 9 (192 酸化鉄、312 シリカ)

その他 : エポキシ樹脂硬化剤健康障害防止通達該当

### 16. その他

本製品に関する有害性等の文献はありません。従って、その評価は原料メーカーからの資料を基に安全に取り扱う為の留意点としてまとめたものであり、データは充分ではありませんので、取扱には充分ご注意ください。

参考文献 : 法規制物質リスト (日本ケミカルデータベース)

: ケミカルデータベース (日本ケミカルデータベース)

: エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害防止のための基準

(労働省労働基準局長通達昭和 51 年 6 月 5 日付け基発第 477 号)

最新改訂：2011年 1月 1日

印 刷：2011年 1月 1日

## 1. 製品及び会社情報

製品名： デブコン HRS3000 (硬化促進剤)

会社名： 株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ&フルイズ ジャパン

住所： 大阪府吹田市江の木町30-32

担当部門： 品質管理部

電話： 06-6330-7118(代)

FAX： 06-6330-7083

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

|                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 引火性液体              | : 区分2                 |
| 自然発火性液体            | : 区分外                 |
| 急性毒性 経口            | : 区分5                 |
| 経皮                 | : 区分5                 |
| 吸入 (気体)            | : 分類対象外               |
| 吸入 (蒸気)            | : 区分外                 |
| 吸入 (粉塵およびミスト)      | : 分類対象外 (粉塵)          |
|                    | : 分類できない (ミスト)        |
| 皮膚刺激性/腐食性          | : 分類できない              |
| 眼損傷性/刺激性           | : 区分2A-2B             |
| 呼吸器感作性             | : 分類できない              |
| 皮膚感作性              | : 分類できない              |
| 生殖細胞変異原性           | : 分類できない              |
| 発がん性               | : 分類できない              |
| 生殖毒性               | : 区分2                 |
| 授乳に関する影響           | : 分類できない              |
| 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) | : 区分1 (中枢神経系、腎臓、全身毒性) |
|                    | : 区分3 (気道刺激性)         |
| 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) | : 区分2 (血管、肝臓、脾臓)      |
| 吸引性呼吸器有害性          | : 分類できない              |
| 水生環境有害性 (急性)       | : 区分外                 |
| 水生環境有害性 (慢性)       | : 区分外                 |

絵表示又はシンボル : 炎、感嘆符、健康有害性

注意喚起語 : 危険

### 危険有害性情報

- ・ 引火性の強い液体及び蒸気
- ・ 飲み込むと有害のおそれ (経口)
- ・ 皮膚に接触すると有害のおそれ (経皮)
- ・ 強い眼刺激
- ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・ 中枢神経系、腎臓、全身毒性の障害
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ
- ・ 長期又は反復暴露による臓器の障害のおそれ (血管、肝臓、脾臓)

## 注意書き

- ・ 火気注意
- ・ 火災の場合は適切な消火方法をとること。
- ・ 熱・火花・裸火のような着火源から遠ざけること。-禁煙
- ・ 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。
- ・ 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- ・ 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。
- ・ 開封後は速やかに使用し、保管する際は、密閉すること。
- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・ 取扱う際に、適切な保護具、保護手袋を着用すること。
- ・ この製品を使用する時に飲食や喫煙をしないこと。
- ・ 取扱い後は、よく手を洗うこと。
- ・ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・ 汚染した衣類は再使用する場合は洗濯すること。
- ・ 環境への放出を避けること。
- ・ 漏出物を回収すること。
- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
- ・ 眼に入った場合は、流水で数分間以上洗い流すこと。
- ・ 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
- ・ 毛髪に付着した場合は、流水／シャワーで洗い流すこと。
- ・ 皮膚についた場合は多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・ 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入をしないこと。
- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 飲み込んだ場合：無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当を受けること。
- ・ 気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。
- ・ 内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : プロパノール組成物

| 化学品名     | 別名 | 含有量(%)※ | CAS No. | 官報公示<br>整理番号 | PRTR法 |
|----------|----|---------|---------|--------------|-------|
| 2-プロパノール |    | 10-30   | 67-63-0 | 2-207        | —     |

※法規制のあるものについて記載

## 4. 応急処置

- 吸入した場合： 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合： 皮膚を速やかに洗浄すること。医師の手当て、診断を受けること。汚染された衣類、靴等を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
- 目に入った場合： 水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。

**飲み込んだ場合：** 水で口の中をよく洗浄すること。無理をして吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当を受けること。気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。

## 5. 火災時の措置

**消火剤：** 小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤

大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤

**使ってはならない消火剤：** 棒状注水

**火災時の特有の危険有害性：** 極めて燃えやすい。熱、火花、火災で容易に発火する。加熱により容器が爆発するおそれがある。火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。引火性の高い液体及び蒸気。

**特定の消火方法：** 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち散水以外の適切な消火剤を利用すること。

引火点が極めて低い：散水以外の消火剤で消火の効果がでない大きな火災の場合には散水する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

**消火を行う者の保護：** 消火作業の際は空気呼吸器、化学的保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：**

漏出物に触れたり、その中を歩かない。周囲にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止し、風上より作業する。低地より離れる。密閉された場所に入る前に換気する。危険区域での火気使用を禁止する。作業の際には適切な防護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

**環境に対する注意事項：**

河川等に排出され環境への影響を起こさないように注意する。

**封じ込め及び浄化の方法・機材：**

危険でなければ漏れを止める。

大量の流出には、盛り土等で囲って流出を防止する。下水、河川、低所へ入り込まないように、安全な場所に導いて回収する。散水は蒸気密度を低下させるが、密閉された場所では燃焼を抑えることができないおそれがある。

少量の場合は、土砂、珪藻土、おがくず等に吸着させてできるだけ除去し、密閉できる空容器に回収する。吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を使用する。

漏出物を扱うとき用いる全ての設備は接地する。上記抑制泡は蒸気密度を低下させるために用いる。

付着物、廃棄物等は、焼却するか廃棄物業者に正規の方法で委託し処分する。

**二次災害の防止策：**

付近の着火源となりそうなものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。排水溝、下水溝、地下室あるいは密閉場所への流入を防ぐ。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

**取扱い 技術的対策：** 火気厳禁を励行する。

高温物、スパーク、火気を避ける。容器の転倒、落下、衝撃を加える、又は引きずるなどの取扱をしてはならない。静電気対策の為、装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。取扱の都度、容器を密閉する。

皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないよう適切な保護具を着用する。

休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後には手、顔等をよく洗う。

休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ちこんでならない。

**注意事項：** 密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業する。

**保管 技術的対策：** 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつはりを不燃材料で作ること。屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。床は危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ適当な溜めますを設けること。保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

**適切な保管条件：** 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置く。火気厳禁を励行する。保管場所には危険物を貯蔵、取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

**安全な容器包装材料：** 現行容器のまま保管

## 8. 曝露防止及び保護措置

**設備対策：** 防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。空気中の濃度を暴露限界以下に保つために排気用の換気を行うこと。高熱取扱いで、工程中にミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。

**保護具：** 必要により、有機ガス用防毒マスク、化学薬品が浸透しない保護手袋、保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）、長袖の着衣、必要に応じて長靴、耐油性の合成樹脂又はゴム製の前掛け、腕カバー等を着用。

## 9. 物理的及び化学的性質

**外観 形状：** 液体

**色：** 褐色

**臭い：** 刺すような臭い

**pH（5%溶液あるいは水中のスラリー）：** N/A

**融点／凝固点：** -90℃（IPA）

**沸点、初留点と沸騰範囲：** 83℃（IPA）

**引火点：** 13.5℃（セタ密閉式）

**自然発火温度（発火点）：** >500℃

**燃焼又は爆発範囲の上限／下限：** 下限2vol%（IPA） 上限12vol%（IPA）

**蒸気圧（mmHg）：** 4.4kPa（20℃）（IPA）

**蒸気密度（空気＝1）：** 2.1（計算値）（IPA）

**比重：** 1.052

**溶解性：** トルエン、イソプロパノール、メタノール、酢酸エチルに易溶

**分解温度：** N/A

## 10. 安定性及び反応性

**安定性：** 通常の手取り扱いであれば安定

**危険有害反応可能性：** 水と接触すると発熱分解し、アセト酢酸エチル、アセチルアセトンなどの有害ガスを生成する。強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。（IPA）

**避けるべき条件：** 高温。水、湿気等を避ける。

混触禁止物質： 強酸化剤、強アルカリ。

危険有害な分解生成物：アセト酢酸エチル、アセチルアセトンなどの有害ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口：LD<sub>50</sub>(ラット)； 3,437mg/kg  
吸入：LC<sub>50</sub>(ラット)； 72,600mg/m<sup>3</sup>  
経皮：LC<sub>50</sub>(ウサギ)； 4,059mg/kg

皮膚腐食性／刺激性：

ウサギ皮膚刺激性試験では、刺激性なし又は軽度の刺激性の報告があるが、ヒトでのボランティアおよびアルコール中毒患者の治療のため皮膚適用した試験では刺激性を示さない。

呼吸器感作性／皮膚感作性：

呼吸器感作性：N/A

皮膚感作性：モルモットでのビューラー法による皮膚感作性試験では陰性であった。皮膚炎発症例での2-プロパノールのパッチテスト陽性例には、低分子の1級又は2級アルコール、プロピレンオキシドにも陽性を示しており、2-プロパノールが原因物質か否か明確でない。

眼に対する重篤な損傷／刺激性：

強い眼刺激。

ウサギでの眼刺激性試験では、軽度から重度の刺激性の報告があるとの記述があるが、重篤な損傷性は記載されていない。

経口毒性：

経口毒性は低い。飲込むと胃部不快感（吐気、嘔吐、下痢等）を起こす。

## 12. 環境影響情報

急性水生毒性：区分外

慢性水生毒性：区分外

残留性／分解性：難水溶性ではなく、急性毒性が低い。

生体蓄積性：混合物としてデータなし

## 13. 廃棄上の注意

「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載事項による。

廃棄は焼却により行うが、その方法は次のいずれかによる。

- ・ 焼却炉の火室へ投げ込み焼却する。
- ・ 都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制 陸上（RID/ADR）： 法令の基準に従い積載、運送を行う。

海上（IMDGコード）： 法令の基準に従い積載、運送を行う。

航空（ICAO-TI/IATA-DGR）： 法令の基準に従い積載、運送を行う。

国連分類：クラス3

国連番号：1993

容器等級：II

---

## 15. 適用法令

消防法 : 第4類第1石油類(非水溶性)  
労安法 有機則 : 第2種有機溶剤(3イソプロピルアルコール)  
通知物質 : 法第57条の2、施行令第18条の2別表第9(494プロピルアルコール)  
表示物質 : 法第57条の1、施行令第18条(2の3イソプロピルアルコール)  
航空法 : 引火性液体  
船舶安全法(危規則): 引火性液体類

---

## 16. その他

本製品に関する有害性等の文献はありません。従って、その評価は原料メーカーからの資料を基に安全に取り扱う為の留意点としてまとめたものであり、データは充分ではありませんので、取扱には充分ご注意ください。

参考文献 : 法規制物質リスト(日本ケミカルデータベース)  
: ケミカルデータベース(日本ケミカルデータベース)  
: 国際化学物質安全性カード(JCSO 番号:0554)  
: 危険物船舶運送及び貯蔵規則 12 改版(海文堂出版)  
: 航空危険物規則書 第47版邦訳(航空危険物安全輸送協会)  
: JIS Z 7250・2005 化学物質等安全データシート(MSDS)  
: 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ  
: The Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS#NT8050000)

---

最新改訂：2011年 1月 1日

印 刷：2011年 1月 1日

## 1. 製品及び会社情報

製 品 名 : デブコン 耐熱プライマー

会 社 名 : 株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ&フルイズ ジャパン

住 所 : 大阪府吹田市江の木町30-32

担当部門 : 品質管理部

電 話 : 06-6330-7118(代)

F A X : 06-6330-7083

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

|                    |          |
|--------------------|----------|
| 引火性液体              | : 区分外    |
| 急性毒性 経口            | : 区分外    |
| 経皮                 | : 区分外    |
| 吸入 (気体)            | : 区分外    |
| 吸入 (蒸気)            | : 区分外    |
| 吸入 (粉塵およびミスト)      | : 分類できない |
| 皮膚刺激性/腐食性          | : 分類できない |
| 眼損傷性/刺激性           | : 区分 1   |
| 呼吸器感作性             | : 分類できない |
| 皮膚感作性              | : 分類できない |
| 生殖細胞変異原性           | : 区分外    |
| 発がん性               | : 分類できない |
| 生殖毒性               | : 区分 1 B |
| 授乳に関する影響           | : 分類できない |
| 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) | : 区分外    |
| 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) | : 区分外    |
| 吸引性呼吸器有害性          | : 分類できない |
| 水生環境有害性 (急性)       | : 区分外    |
| 水生環境有害性 (慢性)       | : 区分 2   |

絵表示又はシンボル : 腐食性、健康有害性、環境

注意喚起語 : 危険

### 危険有害性情報

- ・ 重篤な目の損傷
- ・ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・ 長期的影響により水生生物に毒性あり

### 注意書き

- ・ 火気注意
- ・ 熱・火花・裸火のような着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・ 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。
- ・ 開封後は速やかに使用し、保管する際は密閉すること。
- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

- ・この製品を使用する時に飲食や喫煙をしないこと。
- ・取扱い後は、よく手を洗うこと。
- ・取扱う際に、適切な保護具、保護手袋を着用すること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・汚染した衣類は再使用する場合は洗濯すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・漏出物を回収すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
- ・眼に入った場合は、流水で数分間以上洗い流すこと。
- ・皮膚についた場合は多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
- ・飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄すること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
- ・内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 単一製品  
化学名又は一般名 : オルガノシラン

| 化学品名                | 別名 | 含有量(%)※ | CAS No.   | 官報公示<br>整理番号 | PRTR法 |
|---------------------|----|---------|-----------|--------------|-------|
| 3-グリシトキシプロピルトリメチシラン |    | 99-100  | 2530-83-8 | 2-2071       | —     |
| メチルアルコール（不純物）       |    | 0.1-0.5 | 67-56-1   | 2-201        | —     |

※法規制のあるものについて記載

### 4. 応急処置

**吸入した場合：** 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。症状が悪化したり、継続する場合は医師の診断を受ける。

**皮膚に付着した場合：** 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。皮膚に触れた部分を直ちに拭き取り、水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を使ってよく洗い落とす。必要に応じて医師の診断を受ける。

**目に入った場合：** 流水で15分以上洗浄した後、速やかに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたの隅々まで水が良く行き渡るように洗浄する。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

**飲み込んだ場合：** 水で口の中をよく洗浄する。直ちに医師の診断を受ける。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

### 5. 火災時の措置

**消火剤：** 粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂

**使ってはならない消火剤：** 水（炎を拡散する可能性がある）

**火災時の特有の危険有害性：** 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。

**特定の消火方法：** 適切な保護具を着用する。防護服を着用していない人を作業場から遠ざける。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。爆発のリスクを最小限にする為、霧状の水を使用して容器を冷却する。

**消火を行う者の保護：** 耐熱性着衣などを着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

周囲にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止し、風上より作業する。危険区域での火気使用を禁止する。作業の際には、保護手袋、前掛け、防毒マスク等を着用し、皮膚につけたり、蒸気等を吸入しないようにする。

### 環境に対する注意事項：

河川等に排出され環境への影響を起こさないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法・機材：

大量の流出には、盛り土等で囲って流出を防止する。少量の場合は、土砂、珪藻土、おがくず等に吸着させてできるだけ除去し、密閉できる空容器に回収する。大量の場合は、土砂で流れを止め、下水、河川、低所へ入り込まないように、安全な場所に導いて回収する。付着物、廃棄物等は、焼却するか廃棄物業者に正規の方法で委託し処分する。元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。

### 二次災害の防止策：

付近の着火源となりそうなものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 取扱い 技術的対策：

火気厳禁を励行する。

高温物、スパーク、火気を避け、強アルカリ、強酸性物等との接触を避ける。

局所排気装置の設置等、通気の良い作業場所を確保する。

静電気対策の為、装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。

取扱の都度、容器を密閉する。

皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないよう適切な保護具を着用する。

休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後には手、顔等をよく洗う。

休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ちこんではならない。

### 注意事項：

密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業する。

### 保管

適切な保管条件： 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置く。

火気厳禁を励行する。

安全な容器包装材料： 現行容器のまま保管

## 8. 曝露防止及び保護措置

### 設備対策：

作業所はできるだけ自動化し、混合、加熱工程等の設備はできるだけ密閉構造にする。取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。

### 保護具：

有機ガス用防毒マスク、化学薬品が浸透しない保護手袋、保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）、長袖の着衣、必要に応じて長靴、耐油性の合成樹脂又はゴム製の前掛け、腕力バー等を着用。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

形状：液状

色：無色透明

### 臭い

：微臭

pH（5%溶液あるいは水中のスラリー）：N/A

融点／凝固点：N/A  
沸点、初留点と沸騰範囲：290℃  
引火点：149℃（開放式）  
自然発火温度（発火点）：>200℃  
燃焼又は爆発範囲の上限／下限：N/A  
蒸気圧：<1.3kPa（25℃）  
蒸気密度（空気=1）：>1  
比重：1.07  
溶解性：水に不溶（加水分解性）  
分解温度：N/A

## 10. 安定性及び反応性

安定性：常温・常圧、密閉保管であれば安定

危険有害反応可能性：危険な重合は起こらない。

避けるべき条件：高温、火花及び直火。混触禁止物質。

混触禁止物質：水及び酸、アルカリ化合物。

危険有害な分解生成物：水及び酸、アルカリ化合物と穏やかに反応して（加水分解）、引火性の化合物（メタノール）を生成する。メタノールは加熱または燃焼により、以下の化合物を生成する。一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。二酸化珪素。硫酸化合物。

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口：LD<sub>50</sub>（ラット）；7,000-16,900mg/kg、5,628mg/kg（メタノール：不純物）  
吸入：LC<sub>50</sub>；>2.7mg/L 4hr、LC<sub>50</sub>（ラット）；87.5mg/L 6hr（メタノール：不純物）  
経皮：LC<sub>50</sub>；6,803mg/kg、LD<sub>50</sub>（ウサギ）；15,800 mg/kg（メタノール：不純物）

皮膚腐食性／刺激性：

弱い刺激性あり。

呼吸器感作性／皮膚感作性：

吸入すると呼吸器系を刺激する場合がある。

眼に対する重篤な損傷／刺激性：

弱い刺激性あり。重篤な目の損傷。（メタノール）

経口毒性：

胃部不快感を引き起こすおそれ。（メタノール）

## 12. 環境影響情報

急性水生毒性：区分外

慢性水生毒性：区分2

残留性／分解性：混合物としてデータなし

生体蓄積性：混合物としてデータなし

### 13. 廃棄上の注意

廃棄は焼却により行うが、その際シリカの微粉が生成されますので、適切な設備での焼却を行って下さい。必要に応じて、防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。

廃棄の際は廃棄物の処理及び清掃に関する法律や地方自治体の条例等に従って、廃棄するようにして下さい。

### 14. 輸送上の注意

国際規制 陸上 (RID/ADR) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。

海上 (IMDGコード) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。

航空 (ICAO-TI/IATA-DGR) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。

国連分類 : 9

国連番号 : 3082

容器等級 : III

### 15. 適用法令

消防法 : 危険物第4類第3石油類（非水溶性液体）危険等級III

労安法 通知物質 : 法第57条の2、施行令第18条の2別表9（560 メタノール）

表示物質 : 法第57条の1、施行令第18条（36 メタノール）

航空法 : 引火性液体（3 メタノール）

船舶安全法（危規則） : 引火性液体類（メタノール）

海防法 : 有害液体物質 Y 類（403 メチルアルコール）

港則法 : 危険物・引火性液体類（メチルアルコール）

### 16. その他

本製品に関する有害性等の文献はありません。従って、その評価は原料メーカーからの資料を基に安全に取り扱う為の留意点としてまとめたものであり、データは充分ではありませんので、取扱には充分ご注意をお願い致します。

参考文献 : HSDB-Hazardous Substances Data Bank

: JIS Z 7250:2005 化学物質等安全データシート (MSDS) -第一部：内容及び項目の順序

: 日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン、平成 20 年 10 月

: IARC 発がん性評価モノグラフ

: National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

: ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

: 日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告